

茨城県国際理解教育推進協議会  
会長 川俣 勝慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 水戸市立妻里小学校

担当 生田目 みつ子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成22年11月26日(金) 10:30 ~ 13:30
対象学年と人数	4年生 42名(2クラス)
派遣講師名と出身国	・新垣 マリア(ペルー) ・松山 良子(台湾) ・山形 正子(コーディネーター)
活動の内容	1 講師の自己紹介を兼ねた国の紹介 ・母国語でのあいさつ「こんにちは、ありがとう、さようなら」の紹介、児童と練習 ・学校生活や家庭生活の紹介(日本と比較しながら)、ダンス 2 講師の先生との会食(給食) 3 お礼のダンス(児童から)
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 ・毎回、講師の先生方は資料や民族衣装等を用意し、より分かりやすく、興味を高めながら交流ができるように工夫してくださるので、児童は楽しみながら各国の文化について考えられる機会となっています。
生徒・保護者等参加者の感想	ペルーの民族衣装はとてもカラフルで、きれいな色だったのでびっくりしました。(児童) 給食のときに自分の知っている英語を使って話をしたら、丁寧に答えてくれたので、自分の英語が伝わっていると思います、うれしくなりました。(児童) 台湾の踊りは背筋がピンとのびていて、動きも速く、とてもかっこよかったです。日本に近い国なのによく知らなかったもので、これからもっと知りたいと思いました。(児童)
先生の感想	民族衣装や資料をたくさん用意してくださったので、児童は最後まで楽しく話を聞いたり、ダンスを踊ったりして、講師の先生方の国に興味をもちながら参加することができました。母国語のあいさつでは、交流会のお礼のときなどに実際につかってみようようにしたので、さらに親しみをもつことができました。地図をつかってのいろいろな場所の説明では、日本との距離を考えながら日本との共通点や相違点について考えている様子が見られました。(担当教諭)

